

一般県道小竹穎田線(御徳工区) (改築系道路事業)

1.事業概要

1)路線の概要

一般県道小竹穎田線は、鞍手郡小竹町の一般県道勝野下境線を起点とし、飯塚市の国道201号を終点とする路線である。

本路線の小竹町から飯塚市の国道200号BPにかけては、周辺に工業団地(御徳工業団地、小竹工業団地)が点在し、沿線に小中学校や住宅団地(小竹ニュータウン)が立地していることから、地域の産業・生活を支える重要な道路である。

2)事業の必要性

- ①小竹町都市計画マスタープラン(H17.3)において、小竹町は新たな時代に向け活気あふれた町として再生していく事をきわめて重要な課題としており、本事業区間の整備が町の新たな産業を支える道路整備として位置づけられている。
【事業箇所から半径5km圏内の工業団地数：24箇所】
- ②遠賀川右岸堤防道路が不連続であるため、本事業区間の現道は、御徳大橋・ふれあい橋の2橋を渡り、左岸堤防道路の国道200号と重複している。道路ネットワークとして十分な機能を発揮できていない。
- ③本事業区間が位置する地域は、遠賀川とその支川である庄内川の合流する地域で窪地となっているため、豪雨等により河川流量が増加すると、遠賀川合流部付近で浸水する。本路線周辺には小竹中学校や介護施設などが立地しており、災害時の避難路確保が必要不可欠である。
【浸水家屋数：209戸(H30.7豪雨)】

3)事業により期待される効果

- ①(地域活性化の支援)
御徳工業団地 小竹工業団地など周辺に点在する工業団地のアクセス性が向上し、自動車産業や精密機械産業をはじめとする地域の経済活動を支援することが期待される。
- ②(幹線道路網の機能強化)
遠賀川右岸に道路を整備することで、左右岸で二重の南北軸を形成し、強靱なネットワークとなる。また、国道200号は緊急輸送道路の2次ネットワークに位置付けられており、その代替性も確保される。
- ③(災害時避難路の強化)
浸水など災害発生する本地区に、遠賀川の堤防高で道路を整備することで避難路や支援路としての機能が強化される。

2.現在の状況

現況幅員：W=6.5(8.0)m
現況交通量(車線数)：2,311台/日(2車線)(大型車混入率4.8%)【R2.10実測】

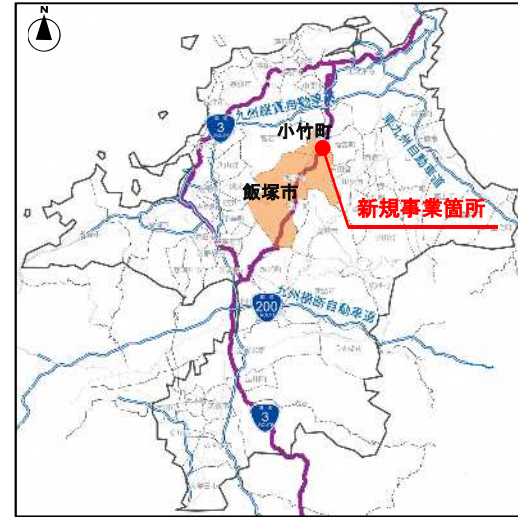
3.計画内容

箇所名：福岡県鞍手郡小竹町大字御徳～飯塚市口原
道路区分・設計速度：第3種第2級 V=50km/h
延長・幅員：L=1.1km W=6.5(12.0)m
全体事業費：C=1,500百万円
事業着手年度：令和3年度
事業完成予定年度：令和12年度
計画交通量(車線数)：4,300～4,800台/日(2車線)(R12推計)
費用便益比(B/C)：1.38

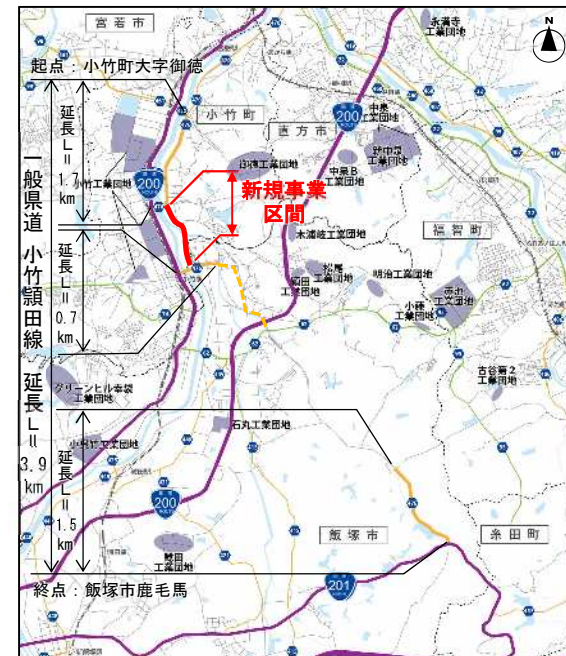
4.その他特記事項

陳情書・要望書：平成23年度～令和2年度 要望書 小竹町から提出
令和2年8月18日 要望書 小竹町・飯塚市から提出

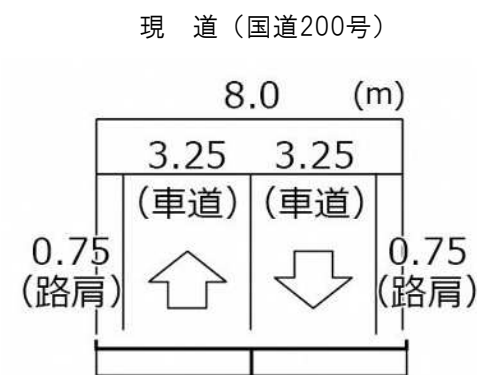
【位置図】



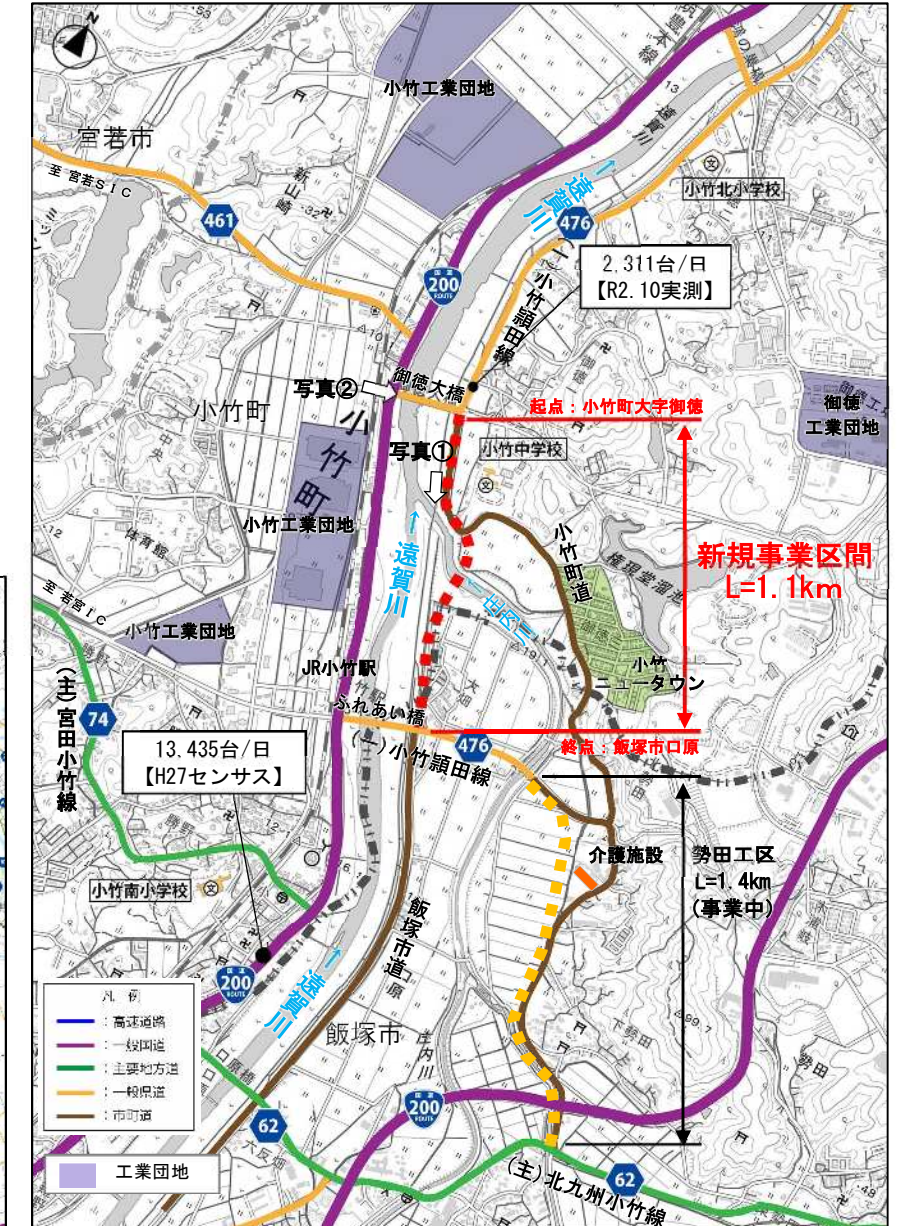
【路線図】



【横断面図】



【平面図】



【現況写真】



写真①：遠賀川右岸堤防道路不連続箇所



写真②：御徳大橋を通行する物流車両